

【初午の日】

2月の最初の午の日の事。

地域の稲荷神社の初午祭にあわせて、実施時期を小売店様に選択して頂けるよう、業界では新暦と旧暦の提示をして普及を推進していきます。

年	新暦	旧暦
2014年	2月4日(火)	3月12日(水)
2015年	2月11日(水)	3月31日(火)
2016年	2月6日(土)	3月13日(日)



(今年のポスター)

【「初午」、「初午いなり」とは?】

- (1) 初午とは、稲荷神が降りてきた事をお祝いする日（稲荷の誕生日）のこと。お稲荷さんの誕生日である初午にいなり寿司を食べると縁起が良いとされている。
- (2) 「いなり＝稲が成る」と古来より五穀豊穡を祈願し、稲荷神の使いである狐を祀るため、油揚げやいなり寿司がお供えされてきた。
- (3) 稲荷神は生命の根源を司る神であり、古くから農業の守護神、商業、工業、殖産興業、交通安全、厄除、火防の神として広く崇敬されており、願いの数だけいなりを食べるといういわれがある。

【事業の目的】

単身世帯の増加や女性の社会進出による調理の簡便化等により、家庭で調理をする機会が少なくなっています。中食業界は家庭食の代行業として、地域の人々の食生活を支える重要なインフラとなり、市場規模は8兆円を超える産業へと拡大して参りました。

しかしながら、それに伴いこれまで家庭内で受け継がれてきた「日本食文化の伝承」が失われつつあります。安全で美味しい惣菜の提供だけでなく、日本食文化の伝承もまた、中食産業が担う大きな役割であると考えます。

惣菜専門店、コンビニエンスストア、スーパーマーケット、百貨店等の中食業界が一丸となり、売場から地域の方々に日本食文化の伝承や地域食材の普及に、寄与貢献することを目的としています。